

『我孫子』で 生まれる物語

住み替え
あびこ
+ビ

保育園待機児童が
35年以上ゼロの街



Abiko
こちよい暮らし

在住歴2年の杉山さんファミリー ※撮影：手賀沼親水広場

住み替えVoice

小林さんファミリーが我孫子を選んだ理由とは…

都内へのアクセスと豊かな自然、どちらも手に入る街

新宿 ⇨ 我孫子へ住み替え

「街も人もゆとりがあるから、のびのび子育てができます」

長女が小学校へ入学するまでに住み替えたいと思っていた小林さんファミリー。我孫子との出会いは、2019年夏に家族で友人宅へ遊びに行った時。「広い空と開放感のある公園を見て、人や車の多い東京よりも、ここで子育てしたいと思いました。街にゆとりがあるからか、暮らす人も穏やかな気がします」。現在は、家族で少林寺拳法を習ったり、子ども向けのイベントを主催するなど充実した毎日。なんと小林さんたちが引っ越してきた約3カ月後に夫の妹夫婦も我孫子へ転居し、今では家族ぐるみで満喫しています。

▶2020年夏頃から、親子で少林寺拳法を習い中



小林恵理子さん(38歳)
2020年3月に我孫子へ住み替え。都内勤務の夫(38歳)、長女(小3)、次女(5歳)の4人家族。2020年7月から「Cafe スコラ」を運営

住み替えて良かった!

3つのポイント

1 職場のある都内には、
座って通勤できるから楽チン

「主人は都内勤務なので、電車通勤できることが住み替え先の条件でした。東京の西側も下見しましたが、朝のラッシュで断念。我孫子は通勤に約1時間半かかりますが、朝は座れるし帰りも混んでいない。読書や動画鑑賞などで時間を有効活用するから大丈夫!と住み替えを決めました」

2 中古住宅をリフォームして
約1.5倍も広いマイホーム



「以前と比べて約1.5倍も広い、築30年の中古物件を購入しました。駅まで徒歩で行け、小学校や公園、図書館、スーパーも近い。都内までほぼ同じアクセスのエリアと比べて、地価が安い我孫子は穴場だと思います」

3 ストレス軽減!?
くつろぎスポットが点在

「『手賀沼公園』やバーベキューもできる『五本松公園』など、親子で遊べるスポットがたくさん。『谷津ミュージアム』や『杉村楚人冠記念館』など大人もくつろげる場所が豊富にあり、癒やしを求めてよく足を運びます」



谷津で田植え体験

小林さんが利用した行政サービス

●若い世代の住宅取得補助金制度

我孫子市内に住宅を取得した40歳未満(夫婦の場合はどちらかで可)の人に、最大15万円を補助。

●市内東側での住宅取得…10万円

●市外からの転入…5万円

※2023年時点 ※ほかに詳細な要件や申請期限等があるため、市のホームページなどで必ず確認を

●あびこ市民活動ステーション



ボランティアや市民活動をしたい人をサポートする公共施設。小林さんも「Cafe スコラ」立ち上げ時に、他団体を紹介してもらったなど様々なサポートを受けました。
我孫子市本町3-1-2、けやきプラザ10階 ☎04-7165-4370

●あびこ子クラブ

放課後、学校が子どもの遊び場として開放されます。工作や囲碁体験などができる「チャレンジタイム」があり、「長女もチェックして、自分の好きなメニューの時に通っています」

ゆとりを実感!“あびこ”のこちよい暮らしについて 星野市長が教えてくださいました



星野順一郎市長

「日常の暮らしに感動を!我孫子だから生まれる暮らしの“ゆとり”」

「我孫子は空が広く、手賀沼に沈む夕陽は、感動ものの美しさ。これは、我孫子ゆかりの文豪 志賀直哉の名作からの引用では無く、転入者の感想です。雄大な手賀沼の美しい風景は四季折々に素晴らしく、朝に夕に格別で時に神々しく、皆さんにもご覧いただきたい私の一押しスポットです。」

本市への住み替えで実感できるのは広い公園や治安の良さ、住まいの広さ、都心直結のアクセスし易さだけではなく、市内のキャンプ場でBBQ、手賀沼でカヌーやSUP、ヨットに挑戦と自然に触れ合いながら、「物語の生まれるまち あびこ」で家族の思い出を紡ぎます。都心から一番近い天然湖沼「手賀沼」の畔で、ゆとり生まれる心地よい暮らしと、感動体験を。さあ、皆さんも「あびこ」で、一緒に始めましょう。

物語の
生まれるまち
あびこ

〈発行〉2023年3月

〈発行者〉我孫子市
企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室
☎04-7185-2493

〈企画・制作〉
サンケイリビング新聞社